

## 第3学年7組 社会科学習指導案

授業者  
共同立案者

- 1 日時 平成27年度6月18日(木) 第5校時(13時45分～14時35分)
- 2 場所 3年7組教室
- 3 単元名 「さまざまな遺産認定を受けている依佐美の送信所は世界遺産認定の価値があるのか考えよう！」

### 4 単元目標

- ・郷土の歴史的建造物である「依佐美の鉄塔・送信所」の役割や意義、歴史的背景について意欲的に追究し、他に伝えようとするができる。(関心・意欲・態度)
- ・「依佐美の鉄塔・送信所」の歴史や役割、意義などを関連づけて、世界遺産認定の価値があるのかを考え、資料等で得られた情報を根拠にまとめることができる。(思考・判断・表現)
- ・「依佐美の鉄塔・送信所」の歴史的意義を地図や年表などを使い、「依佐美の鉄塔・送信所」の価値について考えることができる。(資料活用の技能)
- ・「依佐美の鉄塔・送信所」が日本に与えた影響と教科書で学習した歴史との関連について理解することができる。(知識・理解)

### 5 単元構想

#### (1) 生徒の実態

本学級の生徒は、4月当初授業内での反応が乏しかった。教科書を読んだり、決まった答えを発言したりすることはできるが、社会的事象に対する自分の思いや考えを発言することが苦手であると感じた。自分の考えをもつことはできているが、自信がなく発言することができないように思えた。

本単元では、一つの社会的事象を多面的・多角的に捉えるために、教材を開発し聞き取り調査や見学、一人調べなどを取り入れた単元構想を組むことで、資料の読み取りや関わり合いを通して、自分なりの考えを読み取った資料を根拠に依佐美の鉄塔の特徴をまとめることができるようにしたいと考えた。

#### (2) 目指す生徒像

- ・他者と関わり合う中で、社会的事象を多面的に捉え、追究し続ける生徒

#### (3) 社会科において育成したい力

本校の主題でもある「他者と関わり合いながら自尊感情を高め主体的学ぶ生徒の育成」を軸と考えていくこととする。

①社会的事象を多面的・多角的に捉えるために、他者との関わり合いから自分なりの考えをもつ力。

②根拠を基に自分の考えを他者に伝えようとする力

#### (4) 単元について

本単元は、歴史教科書の終末にある「わたしたち歴史探検家 地域の歴史を調べてみよう」に該当する。学習指導要領中学校社会科・歴史分野の内容(1)のイには、「身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身につけさせる」と記載されている。そこでこの単元の主な意義は以下の点であると考えた。

①地域への関心を高め、郷土に対して誇りをもつことができること。

②地域の具体的な歴史事象との関わりの中で取り上げる時代の様子を大観することができること。

③歴史の学び方を身につけさせることが可能になること。

本単元で取り扱う内容は、「依佐美の鉄塔・送信所」である。生徒たちにとって身近で学区にあった

建造物である地域教材を取り扱うことによって、学習に対する意識を喚起したい。依佐美の鉄塔・送信所を実際に見た生徒はいない。それだけに、依佐美の鉄塔・送信所の功績について理解している生徒はほとんどいない。そこで、「依佐美の鉄塔・送信所は世界遺産認定の価値があるのか？」という学習課題を設定し、生徒自らが追究したり、話し合い活動を通して思いや考えを深めたりする授業を組むことで、より主体的に学習に取り組むことができるだろうと考えた。

「刈谷に世界遺産認定の価値に値するものがあった!？」という驚きから本単元は始まる。そこで、家の人や近所の人からの聞き取りをし、いくつかの疑問や知りたいという思いを抱きながら、依佐美送信所記念館への見学へ行く。実際に目で見たことやガイドボランティアの方から教えていただいたことを整理していく中で新たな疑問が生まれ、さらに追究していく。追究する過程で、昭和時代の中央史と関連させ、「依佐美の鉄塔・送信所」が日本の対外通信自立の先駆けとなったことを理解させる。「依佐美の鉄塔・送信所」の歴史的意義を捉えさせた上で、世界遺産認定の価値があるのかを考えさせたい。

### 6 単元構成図（7時間完了）

段階	学習内容	指導上の留意点
であう	<p>刈谷に世界遺産に認定されるものがあった!？①</p> <p>○依佐美の鉄塔が世界遺産認定される価値があったことを知る。 ・なぜ依佐美の鉄塔が世界遺産なの。 ・どうして刈谷にあるの。</p> <p>→知っている人についてみよう!家や近所の人、先生に聞く。</p>	<p>・日本にある世界遺産を白地図を使い確認する。 ・依佐美の鉄塔・送信所の写真を用意し、存在したことを確認する。</p>
	<p>依佐美の鉄塔について聞き取り調査の報告をしよう②</p> <p>・米軍の基地 ・感電死 ・赤白で目立つ ・原爆投下のターゲット ・「ニイカマボレ」の暗号送信</p> <p>○聞き取り調査から気になったことを出してみよう。 ・鉄塔の役割は何。 ・どうして作ったの。 ・なぜ依佐美に。 ・建設費用はいくら。 ・何に使われていたの。 ・なぜ今なのか。 →依佐美送信所記念館に見学に行こう。</p>	<p>・聞き取り調査の報告内容から、疑問をもたせるようにする。 ・見学時の質疑応答につながるような板書を心がける。</p>
ふかめる	<p>依佐美送信所記念館に調べに行こう!～依佐美の鉄塔について知ろう③</p> <p>○依佐美の鉄塔についていろいろなことを知ろう。 ・通信技術のすごさ（長波）。 ・米軍に接收。 ・鉄塔の大きさ。 ・日本海軍が使っていた。 ・どこで通信をしていたのか。 ・鉄塔が依佐美に建てられたわけは。</p>	<p>・依佐美の鉄塔・送信所に関することができる限り知り、学ばせる。</p>
	<p>依佐美送信所見学のまとめくをしよう!～見学・調べでわかったことをまとめよう④⑤</p> <p>○見学で集めてきたことを整理しよう。 →現段階で世界遺産認定の価値があるのかどうか自分の考えを理由とともに書く。 ○資料から鉄塔について分ることを見つけよう。 ※資料については別紙参照</p>	<p>・見学で得てきた情報を整理させ、新たな疑問を出させる。 ・鉄塔・送信所についてさらに調べられるように自作の資料集を用意する。</p>
	<p>依佐美送信所の世界遺産認定価値を考えよう。⑥</p> <p>○世界遺産認定価値を調べ学習をもとに出し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>プラス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対欧通信施設として活躍</li> <li>・日本初の独立した国際通信施設</li> <li>・刈谷に建設された理由</li> <li>・東洋一の高さ</li> <li>・工事費550万円</li> <li>・I E E Eマイルストーン認定</li> <li>・記念館ができる</li> <li>・機械遺産などに認定</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>マイナス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米軍に接收され基地として使用</li> <li>・長波として潜水艦に指令</li> <li>・戦時中に軍が使用</li> <li>・戦争の道具として使われていた</li> <li>・真珠湾攻撃の暗号を送信した</li> <li>・返還後に撤去</li> <li>・実物がない</li> </ul> </div> </div> <p>○世界遺産に認定される価値があるのか考える。 ・当時は技術的に世界最高レベルであり、日本の産業遺産に大きく貢献し、影響を与えていたので世界遺産に認定。 ・技術はすごかったが、戦争の道具として使われていた事実がある以上、負の遺産として、世界遺産には認定できない。 ○世界遺産認定の価値があると考えているが、どうして壊してしまったのだろうか。 →依佐美の鉄塔・送信所を残し、後世に伝えようとしていた人の話が書いてある新聞記事を読み、すごさを再認識する。</p>	<p>・調べてきたことを出し合う場面では、それぞれの分野を深く追究させるために、教師が切り返しの発問をする。 ・教師の切り返しに対して意見が出ない時には、グループで話し合わせる。</p> <p>・調べてきたことを根拠に考えを深めさせる。 ・単元の導入での学習課題に迫らせるために、鉄塔の坂んできた歴史を確認させる。</p> <p>・新聞記事を読み、何とかして後世に残そうとしていた人の思いを伝える。</p>
ひろげる	<p>依佐美送信所の歴史的価値を伝えよう。⑦</p> <p>○4人グループで依佐美の鉄塔・送信所が世界遺産に認定される価値があることを宣伝広告をつくることで伝える。</p>	<p>・依佐美の鉄塔と同じ役割をしていたスウェーデンのグリメトン長波海岸局は世界遺産に登録されたことを教える。</p>

### 第3学年7組 社会科学習指導案

授業者 戸田 和晃

#### 7 本時の指導（6／7）

##### （1）本時の目標

- ・調べ学習で得た情報を全体に伝え、互いに共有することができる。 (意欲・関心・態度)
- ・依佐美の鉄塔・送信所が世界遺産認定の価値があったのか、調べてきたことを根拠に自分なりに考えをまとめることができる。 (思考・判断・表現)

##### （2）授業構想

生徒は、前時まで、「依佐美の鉄塔・送信所」についてさまざまな面から調べ学習をしてきている。本時では、その調べ学習をしてきた内容を発表する。その発表をもとに、「世界遺産認定の価値があるのか」を考えさせたい。考える場面では、黒板に出た意見をもとに本校独自のよさっぴトーク（4人グループでの話し合い）で、考えを深めていきたい。

終末には、「依佐美の鉄塔・送信所」を残そうと動いた人物の文章を紹介し、様々な遺産認定を受けていることを伝えたい。またその人物が「依佐美の鉄塔・送信所」のすごさを伝えようとしていたことを知り、「依佐美の鉄塔・送信所」について、郷土にあった歴史的建造物として誇りをもてることを期待する。

準備 教師：掲示用資料 ワークシート

生徒：依佐美の鉄塔・送信所関係の資料・ワークシート


##### （3）指導過程

時	学習内容	指導上の留意点		
0	○これまで学習した内容を振り返りながら、既習内容を確認する。 世界遺産認定価値の有無を数直線上で確認する。	・調べてきたノートを確認させる。		
5	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>依佐美送信所は世界遺産認定の価値があるのか考えよう。</b> </div> ○調べたことをもとに話し合う。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <b>プラス</b>            ・対欧通信施設として活躍            ・日本初の独立した国際通信施設            ・刈谷に建設された理由            ・東洋一の高さ            ・工事費550万円            ・IEEEマイルストーン認定            ・記念館ができる            ・機械遺産などに認定         </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <b>マイナス</b>            ・米軍に接收され基地として使用            ・長波として潜水艦に指令            ・戦時中に軍が使用            ・戦争の道具として使われていた            ・真珠湾攻撃の暗号を送信した            ・返還後に撤去            ・実物がない         </td> </tr> </table>	<b>プラス</b> ・対欧通信施設として活躍 ・日本初の独立した国際通信施設 ・刈谷に建設された理由 ・東洋一の高さ ・工事費550万円 ・IEEEマイルストーン認定 ・記念館ができる ・機械遺産などに認定	<b>マイナス</b> ・米軍に接收され基地として使用 ・長波として潜水艦に指令 ・戦時中に軍が使用 ・戦争の道具として使われていた ・真珠湾攻撃の暗号を送信した ・返還後に撤去 ・実物がない	・4人グループで調べてきた内容の共有する場を設定する。 ・調べてきた内容を見やすくするために、プラスとマイナスに分けた板書を心がける。 ・4人グループをつくり価値について根拠をもって話し合う場を設定する。
<b>プラス</b> ・対欧通信施設として活躍 ・日本初の独立した国際通信施設 ・刈谷に建設された理由 ・東洋一の高さ ・工事費550万円 ・IEEEマイルストーン認定 ・記念館ができる ・機械遺産などに認定	<b>マイナス</b> ・米軍に接收され基地として使用 ・長波として潜水艦に指令 ・戦時中に軍が使用 ・戦争の道具として使われていた ・真珠湾攻撃の暗号を送信した ・返還後に撤去 ・実物がない			
15	○世界遺産認定の価値があるのかを考える。 ・当時は技術的に世界最高レベルであり、日本の産業発展に大きく貢献し、影響を与えていたので世界遺産認定。 ・技術はすごかったが、戦争の道具として使われていた事実がある以上、負の遺産として、世界遺産認定はできない。	・鉄塔、送信所を実際に残そうと動いていた人の思いを知る。		
40	○「鉄塔・送信所」を残そうと動いた人の文を読む。			
45	○世界遺産認定の価値について数直線上に名札を貼りに行き、その理由をノートに書いて、授業を振り返る。	・世界遺産認定の価値について考えてみてどう思ったのかを振り返りをさせる。		

(4) 評価

- ・調べ学習の内容を伝え合い、依佐美の鉄塔・送信所がどんなものであったかとらえようとするこ  
とができたか。(発言の様子)
- ・世界遺産認定の価値があるのか、根拠をもとに自分の考えをもつことができたか。  
(発言や授業日記)

(5) 板書計画



鉄塔  
の  
写  
真

依佐美の鉄塔・送信所は世界遺産認定の価値があるのだろうか。

現存するが  
依佐美はない

グリメトン

一説にしかすぎない

事故が多い  
感電死 ものがない  
8本が1本しかない  
ドイツに負の影響

完成時には短波の時代  
無用の長物

日本初、対欧州向け無線通信  
東洋一の高さ  
大きい、技術的には上

第一号

歴史を動かす  
世界を動かす

不正確

歴史

長波  
超長波

通信スピード  
4時間→15分  
潜水艦と通信

機械遺産  
IEEE  
未来技術遺産

日本軍使用→米軍  
海外と関わっている  
記念館ができている

世界遺産の価値はない

マイナスを克服すべき

世界遺産の価値はある